ぞくぞく集まる 歳末たすけあい金品

町社会福祉協議会（会長畠山義郎）ではこの歳末をみんながしあわせに年を越せるよう、少しでも助けあいの金品を困っている人々にわけあいませうという歳末たすけあい基金の募集をしていたが、町内各地区から暖い贈物がぞくぞく届けられ、関係者を喜ばせている。

この暖い贈物は十二月二十五日、二十六日配分された。

各地区から贈れた金品は次のとおりである。

◇南地区婦人会（これは地区内各商店一品拠出運動によるもの）

一、バスタオル　一本
一、タオル　五本
一、湯のみ　五ケ
一、菓子皿　二枚
一、布きれ　一枚

◇西地区婦人会（これは地区内毎戸募集によるもの）

一、白米　二斗四升五合
一、現金　五、〇三〇円
一、衣類　一点

◇木村一蔵（李岱、木村畳屋個人寄贈）

一、上敷　二十五枚

◇桜田治恵門（李岱、丸亀商店個人寄贈）

一、タビ　一一四足

十和田 ユースホステル完成

青少年や外人学生のための簡易宿泊施設ユース・ホステルが十和田湖畔発荷峠に建てられました。

ユース・ホステルというのは学生や青少年が安い料金で健全な楽しい旅行をするためにできた宿泊施設です。

今度十和田に建てられたものは、総工費千四百万円（内国庫補助五百万円）で建設されたもので、東北では宮城県と秋田県の二つしかありません。

建物は鉄筋コンクリートの平家一部二階建で収容人員は五四人となつています。

宿泊料は百円、二食付で三五〇円ですが、自炊もできるよう設備されています。

普通のホテルや旅館と異る点はすべてがセルフサービス式であり、寝室の掃除等も管理者の指示に従つて行なうのが建前になつています。

開館は、新春早々の予定ですが、冬期間も運営される計画ですから、大いに利用いたしましよう。

七、三〇九人 本町の有権者確定

選挙管理委員会ではこの程委員会を開き、九月十五日現在で調制した「基本選挙人名簿」の検討を行つた結果、有権者数七、三〇九人と確定した。

これは昨年同期の有権者数より一四一人増加している。投票区別有権者は次のとおりである。

投票区	男	女	計
上杉	六三三	六九三	一、三二六
駅前	二〇五	二三三	四二七
川井	三〇三	三一	六二四
木戸石	四七四	五〇六	九八〇
増沢	一六五	一八三	三四八
李岱	三三九	三五二	七二一
新田目	一八七	二二二	三九九
羽根山	二二三	二六六	四九八
根田	二八六	三三七	六二三
三里	一八八	一九三	三八一
三木田	一八二	二〇五	三八七
鎌沢	一五二	一九七	三三二
杉山田	一三二	一四一	二六三
計	三、四六九	三、八四〇	七、三〇九

役場の年末年始

役場の年末年始の休みは次のとおりであります。

自	十二月二十九日
至	明年一月三日
自	十二月二十八日
至	一月二十三日
▽西小学校	
自	十二月二十八日
至	一月二十二日
▽東小学校	
自	十二月二十八日
至	一月二十二日
▽南小学校	
自	十二月二十八日
至	一月二十一日

各校の冬休み

町内各小中学校では、このほど本年度の冬休みを次のとおりきめた。

なお、右の期間中でも、とくにお急ぎの用件（出生、死亡など）は日直者にお言い付け下さい。

▽北小学校	
自	十二月二十八日
至	一月二十三日
▽東中学校	
自	十二月二十八日
至	一月二十三日
▽西中学校	
自	十二月二十六日
至	一月二十日
▽南中学校	
自	十二月二十八日
至	一月二十三日
▽北中学校	
自	十二月二十八日
至	一月二十三日

＝ことしは暖冬か＝ 12月から2月まで天候予報

秋田地方気象台ではこの一ほど十二月から来年二月までの天候予報を発表しました。

これによると、この冬も暖冬の傾向が強く特に一月半ばから二月にかけては割合しのぎやすい天気がきそうです。

ただ十二月後半から正月にかけては大陸の高気圧が発達して時々寒気の吹き出しがあり平年並の寒さとなりそうです。

雪は十二月下旬から一月上旬にかけて降りそうですが一月半ば以後は少な目です。

【気温】十二月はやや平年より低くなる見込みですが月平均では平年並位になりましよう。

一月は上旬に寒さのきびしい日がありますが、中旬以後は寒さはやわらいできましよう。下旬には一時寒さがもどるかも知れません。

二月はだいたい平年並か高めの日が多い見込です。

【降水量と積雪】十二月はやや強い寒波が現われる見込みでこの頃雪の日が多くなりましよう。

一月は、上旬は冬型の天候ですが、中旬以後は冬型が崩れてくる見込みなので、雪は平年よりやや少ないでしよう。

二月は降水量、積雪共に少な目の見込みということです。

銃砲刀剣類の登録月例審査会

これまで毎月二十一日（休日の場合は前日）に実施されていたが県庁新庁舎落成移転のため本年十二月及び明年一月の月例審査会を取やめ二月以降当分の間期日と場所を左記により登録審査を行ことになつた。

また年に一度県内八～九ケ所で実施した審査会は今後も継続されます。

記

一、日時　毎月十日（休日の場合は前日の九日）午前十時より正午まで

二、場所　秋田市山王通り秋田県教育庁社会教育課

＝家庭メモ＝

これからの高血圧の予防

寒くなると毎年高血圧症の人々がふえて来ます。

高血圧の原因あるいは誘因にはいろいろありますが大別すると内臓に故障があつておこる場合と精神的な原因に分れます。

これから寒くなるので高血圧症の方は次のことに十分注意しましよう。

一、安静　取越し苦労をする人に高血圧が多くあります。適度の運動と規則正しい生活、充分な睡眠（八時間位）をとりましよう。

二、保温、血圧は冬に上昇して夏には下降します。寒さにあうと血圧が上ります。

高血圧者は尿の回教がふえますが夜は便器を使用するよう。

年よりの冷水と云いますが、冷水は急に血圧を昇させますから寒いときの水仕事に注意しましよう

三、食生活、できるだけ肥らぬようにするため減食と適度の運動をしましよう。

米食と脂肪、食塩のとり過ぎぬよう。両親の食餌が子供の体質（高血圧）をつくることも考えられます。

四、そのほか、血圧の高さが背の高さや体重数とは異りつねに変動し易いし不安定なものですから、本当に高く高血圧症と呼ばれる病気であるかどうかは、二、三度の測定では決めかねるものです。

前にのべた事を守つてもなお下らぬときは無駄な心配をすることなく治療いたしましよう。

＝建築大工と板金工＝

二級技能検定を受けましよう

一、趣旨

技能検定は労仂者の技能を検定して公証しようとする国家検定制度であり、職業訓練法によつて創設されたもので、労仂者の技能と地位の向上をはかり、ひいてはわが産業における技能水準の向上を通じて産業の発展に寄与しようとするもので合格者には技能上の弥号が与えられる。

二、検定職種

一級（労仂大臣実施）と二級（県知事実施）とに分れており、県では建築大工と板金工の二級試験を実施する。

三、期日

第一次試験（学科と技能要素試験）一月十日

第二次試験（実技試験）二月二十五日から三月三十一日までの間の指定日

四、場所

秋田市、大館市、横手市

五、受験資格

1 義務教育修了、実務経験七年以上

2 職業訓練所（職業補導所）修了、実務経験四年以上

3 高校職業課卒業、実務経験二年以上

六、免除資格

1 建築免除、職業訓練指導免件を有する者は学科試験が免除される

あなたの財産を保護するには

あなたの財産である土地や家屋は法務局（登記所）に誤りなく正確に登録されておりますか。

家を建てた場合や、土地を分けたりしたとき、その他、その土地家屋に異動があつた場合には一ヶ月以内に本地区は法務局米内沢出張所（登記所）へ、西南北の三地区は落合出張所（登記所）へ届出（申告）をしなければならないことになつております。

もしこの申告を怠り法律で定められた一定期間内にこの届出をしない時は土地及家屋台帳法の規定により罰せられることになつておりますので、あなたの財産である土地や家屋が法務局（登記所）備付の台帳と相違していたり全然台帳に登録されていなかつたりした場合は速やかに届出をして下さい。

家を建てたとき役場から調査に来たから、それで自分名義になつたと思つている人はありませんか。

役場で調査するのは固定資産税の課税をするためのものであつてそれによつてあなたの建てた家があなたの名義になつたというわけではありません。

あなたの名義となるためには登記所の台帳に登録されることが必要なのです。

この手続をすませてはじめてあなたの財産として保護されることになるのです。

皆さんはこの点を誤つて考えていませんか。

役場で調査に来たからもう自分の名義になつたんだぞと思つていたらそれこそ大変な間違いで、後になつていろいろ面倒な問題が起つた場合（例ば不幸にして家が焼け、火災保険を取るような場合等）非常にお困りになることがありますから必ず登記所に届け出で登記所の台帳に登録して下さい。

登記所に対する届出はどうしたらよいか

登記所に届出する場合はその届出する土地や家屋を測量したり、その図面を作つたり、いろいろと技術を要することになるのですがご自分でそのような手続をして登記所に届け出る場合は、その所在地を管轄している登記所について必要なことを聞いて、その手続等をして届け出でて差し支えありませんが、ご自分では技術的に面倒な場合が多いので、みなさんに代つてこれらのことをするために、法律により一定の資格を与えられた「土地家屋調査士」制度が設けられているのです。

登記所に届出する場合には調査士に依頼するのが一番安心であります。

まだ登記所に申告していない土地や家屋は、今すぐ申告して実際面と公為面との一致を期して下さい。

（秋田地方法務局落合出張所）

あとがき

◇今年もあとわずか、街々にはジングルベルのメロディーが流れ、歳末大売出しの旗がなびき、行交う人々悲喜交々、去り行く年を惜しんでいるかのよう。

◇ことし最後の広報をお届けする。

四月杉淵先輩からバトンタッチしてから九ケ月、どうしてあゆんだのか夢のようこれも暖かくいたわり育てて下さつた各位のご支援のたまものと心からお礼申上げます。

◇これで今年最後の編集を了えた……環境を整理し新しい年を迎えたいとはひとり編集子のみではあるまいみなさんとともに良き昭和三十五年の新春を迎えたいと念願してやみません。

（広報係　松橋新一）